

ChainShot Ex 11.4.0

【解説】

「ChainShot Ex」は、並んでいる駒を消すパズルです。

ルールは、Macでは「まきがめ」Windowsでは「さめがめ」等として知られている物と同じです。これら全てのゲームのオリジナルアイデアは、もりすけさん作の「ChainShot!」で、その名称を引き継がせて頂きました。

駒の絵柄を外部ファイルから取り込む事も可能です。「まきがめ」用の駒データを変換して取り込む事も可能ですが、全ての駒データに対応出来ているかは未確認です。

macOS版で“Supplements”フォルダが有るにも拘らず『外部1』のフォルダが無いと表示されてしまう場合には「Supplementsが見つからない場合」フォルダ内の文書を参照してください。

【操作】

起動すると自動でゲーム開始します。

消したい駒をクリックしてだけで、全ての駒が消えればクリアです。

詳細の説明は画面右下の「？」ボタンで表示されます。

【成績記録】

バージョン11.2.5より「ChainShot Ex」の成績記録はユーザー毎の書類フォルダ内の“henjinsoft”フォルダ内の“ChainShotEx”フォルダ内の“GameRecord”ファイルに保存されていて、このファイルのバックアップが有れば、障害時の復旧や新しいPCに入れ替える等の際に成績を移行するために使用出来ます。

この仕様のため、システムから「書類フォルダにアクセスしようとしている」と言った旨の確認が表示される事があります。

※：書類フォルダの名称はシステムにより異なります。

（“書類”、“ドキュメント”、“Documents” など）

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Untity」というドキュメントを参照してください。

動作にはインターネット接続や他のアプリケーション等のインストールを必要としません。

【インストール】

「ChainShot Ex」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「ChainShot Ex」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「ChainShot Ex」は、Unity2022.3.62f3で作成しています。

【バージョン履歴】

2026.09.20 11.4.0

Unity2022に移行

細かな動作の調整

内部処理の調整

2025.10.12 11.3.1

Unityのセキュリティ問題（CVE-2025-59489）の対応

2024.10.23 11.3.0

残数表示機能の追加

細かな動作の調整

内部処理の調整

2022.12.12 11.2.5

マウスポインタ表示の変更

内部処理の調整

2022.05.30 11.2.4

内部処理の調整

2022.02.23 11.2.3

アニメーション動作の修正

内部処理の調整

2021.08.20 11.2.2

画面デザインの微調整

内部処理の調整

2021.07.10 11.2.1

駒の表示処理の修正

内部処理の調整

2021.06.28 11.2.0

PC-9800版「さめがめ」用外部駒データ変換機能追加

細かな動作の調整

内部処理の調整

2021.05.15 11.1.0

外部駒データに対応

内部処理の調整

2021.04.20 11.0.0

初版

2026.9.20 竹内 (Macの変人) 喜代志